

# 「ビドール」を開設

インテリア金物専門通販サイト

ナガノ

インテリア金物ブランド B IDOOR (ビドール) 運営元のナガノ(社長長野良雄氏、大阪市東成区大今里西一の二五の四、☎06・6972・3824)は、インテリア・建築金物総合専門通販サイト「ビドール」をこのほど公開した。(Url: <http://www.bidoor.co.jp/>)

「ビドール」は金物ブランド「B IDOOR (ビドール)」が運営するインテリア・建築金物総合通販サイト。「B IDOOR (ビドール)」は、インテリア金物を製造販売している独立系ブランドで、平成十四年四月よりWEBサイトで商品の販売を行ってきた。このほど新しい販売専門WEBサイト「ビドール」を公開することとなった。自社ブランド以外にも取扱商品数を増やすことでユーザーにとってより使いやすいWEBサイトを目指す。

「B IDOOR (ビドール)」WEBサイトでの商品販売は

「ビドール」開設後もしばらくの間は継続するが、時期をみて「ビドール」に販売業務を移行する形となる。新しいWEBサイトの立ち上げということで、今までに B IDOOR (ビドール) WEB サイトになかった特徴を盛り込んだサービス・システム開発に取り組んだ。

「ビドール」は、大手ECサイトが採用している検索方法と違った方法を採用しているが、それは取扱製品が完成品ではなく金物部品製品であるため。建築金物は多用途でかつ多サイズの商品が多く、ブランド名や品番が分からないと目的の商品を探し出しにくいという難点がある。逆に言うと、文字列検索では探し出せない安くて良い商品が埋められていることも多い。商品分類の考え方において、大手ECサイトなどが採用しているものと、建築金物業界のものとは異なっていたため、同社では独自の建築金物検索システムの必要性を感じていた。

「ビドール」ではブランド名や品番が分からなくても、もっと印象的に目的の商品を探し出すことはできないのか?という問題点に真っ向から取り組み、独自の検索システムを採用している。「色」「形」「用途」「材質」など、商品の特徴で分類するのはもちろんのこと、絞り込み項目をあらかじめメニュー一覧に持たせることによって、「テキストでない絞り込み検索」を行うことができる。また、商品オプションに商品の複数サイズ(用途の場合もあり)を格納することによって、検索結果リストからの商品閲覧がシンプルになった。商品の詳細ページにおいても複数サイズ(用途)を同時購入できるようにしている。建築金物分野において、PDP言語を用いるデータベースサイトとしては日本初の試みとなる。

複数のメーカーの金物商品を横断的に目的別に検索する場合は、この検索の考え方が不可欠だと「ビドール」は考える。

今後、商品アイテムが増えることが予想されるが、多用途・多品目な商品でも耐えうるシステムとして期待している。

## 仕入れ先企業を募集

「ビドール」では商品の取扱品目を増やすため、仕入れ先になってもらえる企業を募集している。建築・家具金物製造メーカーやブランドメーカー、金属・木製・樹脂金物の加工・製造・販売をしている企業、また特定メーカーの特約代理店(一次代理店など)や海外より金物類を輸入している企業などの応募を待っている。詳細は同社まで問い合わせを。

▽取扱品目(平成二十一年十一月現在)  
引手類、レバーハンドル・錠類、戸戸金物類、取手類、つまみ下がり類、レール類、戸車類、戸当たり・クローザ・キャッチ・ストッパー類、ガラリ・空気孔・明り窓類、丁番・ピンジ類、棚受・フック類、釘・ネジ・ナット・座金類、スベリ・資材・工具類、和家具金物類、神社・仏閣用装飾金物類

2009年(平成21年)12月5日(土曜日) 住宅資材新聞 掲載

